

## 御嶽山噴火災害物故者追悼文

敬つて真言教主大日如来 両部界曾諸尊聖衆 別しては一周忌の本尊勢至菩薩 並に宗祖弘法大師 総じては盡空法界一切三寶の境界に白して言さく

平成二十六年九月二十七日 午前十一時五十二分に発生せし有史以来の御嶽山大噴火は登山者を一瞬にして襲い 戦後最悪の火山災害となれり これによる物故者は五十八名 行方不明者は五名に及ぶ  
災害より一年を経たる今も尚物故者の御遺族 行方不明者を案ずる方々の心情察するに余りあり

本日此処に 被災物故者を慰霊せんが為 真言宗智山派長野南部北部青年会會員と共に追福修善の梵筵を延ぶ

一年の歲月 幻の如くして宴に迅し されど甚大なる被害は 夢の如くにして夢に非ず

この深き哀しみと苦悩をば 誰をか頼りに救済せん

夫れ以るに一周忌は勢至菩薩の三昧なり 夫れ勢至菩薩と者「神力十方に編く悲願三世に互る 恭しく敬い至心に供養する者は 足を運ばざるに諸仏の寶刹に遊び 信心祈願して帰依する者は 手を挙げざるに仏性の蓮華を開かん」との聖なる教示あり

此処に被災物故者一周忌供養の為 勢至菩薩の真言を唱え般若の妙典を諷誦し 供養せんとす

願わくは被災物故者諸霊 般若理趣の法味に浴し 速やかに密厳浄土の蓮台に登られると共に 再会願う御遺族の一夜の枕辺に立たれんことを  
重ねて乞う 本尊大日如来並びに勢至菩薩 廣大無辺に大慈悲を廻らし

行方不明者早期発見 鎮護国土 被災地安穩 被災者健祥

雨風順時 世界平和 万民和樂 ならしめんことを

乃至法界 平等利益

惟時平成二十七年十月一日

真言宗智山派長野南部北部青年会